

よい保育施設の選び方 十か条

一 まずは情報収集を

まずは区役所・支所保健福祉課で、空き状況や施設の種類、手続きについて情報を集め、相談しましょう。

二 事前に見学を

申し込む前に、必ず施設を見学しましょう。

（できれば複数の施設を比べてみましょう。）

三 見た目だけで決めないで

「おしゃれ」「新しい」「安い」など、見た目や宣伝だけで判断しないようにしましょう。

大切なのは、実際の保育の中身と子どもの様子です。

四 部屋の中まで入って見て

見学では、玄関先だけでなく、子どもが過ごしている保育室の中まで入らせてもらいましょう。

（難しい場合は理由を確認しましょう。）

五 子どもたちの様子を見て

子どもたちの表情が明るいのか、落ち着いて過ごしているかを見てみましょう。

無理に静かにさせられていないか、泣いている子への対応はどうか確認できると安心です。

六 保育する人の様子を見て

職員の人数は足りているか（配置）を聞きましょう。

保育士資格を持つ職員がいるか、割合も聞けるとよいです。

職員が笑顔で丁寧に関わっているか、声かけが適切かを見てみましょう。

経験のある職員がいるか、入れ替わりが多すぎないかも確認しましょう。

七 施設の様子を見て

静かに眠れる場所があるか、子どもが動き回れる広さがあるかを見ましょう。

おもちゃ・絵本・遊具などが揃っているか、外遊びの頻度も聞いてみましょう。

日当たり・風通し・清潔さ（におい、床、トイレ、手洗い場など）を確認しましょう。

災害時の避難経路（非常口・避難階段等）を実際に見せてもらいましょう。

八 保育の方針を聞いて

園長や職員に、保育方針（大切にしていること）や1日の流れを聞きましょう。

給食の内容（栄養、手作り/配食、アレルギー対応）を確認しましょう。

連絡帳・アプリ等での連絡方法、保護者参加（参観や面談）の機会があるか聞きましょう。

九 預けはじめてからもチェックを

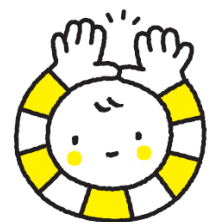
入園後も、送迎時などに子どもの様子や保育の様子を折にふれて確認しましょう。

気になることがあれば、早めにメモして相談すると伝えやすいです。

十 不満や疑問は率直に

不安・疑問・要望があれば、遠慮せず早めに相談しましょう。

誠実に説明し、対応してくれるかも大切なポイントです。



こどもっと
K O B E